

## まえがき

第一章 解題および資料

1

第二章 本文影印

7

第三章 本文翻刻

33

第四章 「漂海始末」「風俗」「宮室」「衣服」「海舶」「土産」の

77

訓み下し文

97

第五章 「漂海始末」「風俗」「宮室」「衣服」「海舶」「土産」の  
現代日本語訳及び注釈・解説

117

第六章 「言語」の翻字（転写）

1

第七章 「言語」「琉球」語の解説

11

第八章 「言語」「呂宋」語

31

第九章 「言語」「琉球」語の分析

45

第十章 「言語」「琉球」語索引

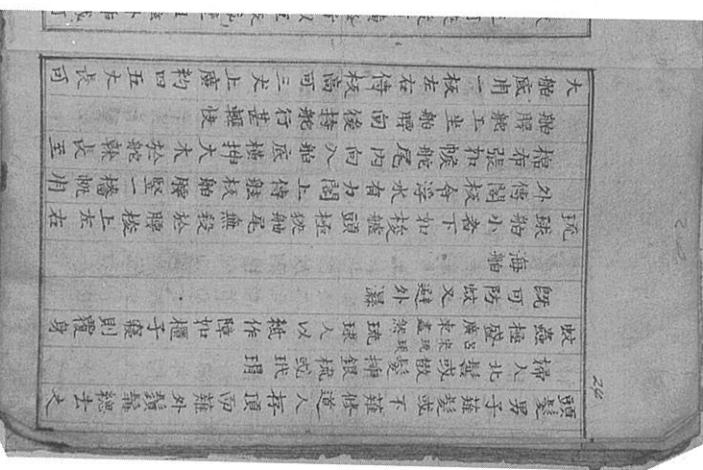
77

## 参考文献

あとがき

245 241

写真8. 『漂海始末』十四丁裏 (28頁)  
〔土産〕



『漂海始末』十二丁裏 (24頁)  
〔海舶〕

写真8. 『漂海始末』十四丁裏 (28頁)  
〔土産〕



写真5. 「漂海始末」十」表(19頁)  
〔宮室〕

字真 b. 「襟海始末」十二 番 (21頁)  
〔衣服〕

〔衣服〕

岐	一藏指一藏下四指攤皆草率行則以拇指子
無異制布裹下禮機貴人始有之而單布為之薄為二	瓦球無袴只衣長襦曳至於足被可選時行則著拔男女
衣服	無城郭嵩嶽
鐘聞者各依聲而至以禮神	聲外鼎鐘四五大小不等祭祀禱隨事異鐘一人撞
頭前設堵頂堅金鑄令隨風自旋頭向風來之方撞下	神廟則作長屋三十四開甃甌此以待禮安神像於一
以橫以備讙悲瓦成	金庫亦作庫屋盛器之外灰金上豐下缺蓋並櫬柱未

無大豆不食改醬無羊籽食牛糞豆桔子採其莢和豕  
肉內可啖  
無烟臺甚烟葉燒一頭吸一頭  
嘶鳴人數國作羨啖之  
貪脯煩鬚飲雨水泄下  
瓦宮室皆方正謂之屋  
瓦球室屋皆以核爲之面皆壁前面全通又無牕戶當人  
卧處皆以核爲之面皆壁前面全通又無牕戶當人  
或設門而亦全一面爲門二以核爲之納明則開之而  
已無座藏室中別結一隅外有別舍待賓園以墻不設